おひさま通信

No. 333

2017年 10月号

社会福祉法人みぬま福祉会
川口太陽の家・アトリエ輪

題字＆イラスト　吉川千晶

川口太陽の家
〒333-0831 川口市木曽呂１３７４
kawaguchitaiyonoie@marble.ocn.ne.jp
TEL 048-294-0955　FAX 048-294-4458

川口太陽の家・工房「集」
〒333-0831 川口市木曽呂１４４５
kobo-syu@marble.ocn.ne.jp
TEL 048-290-7355　FAX 048-290-7356
http://kobo-syu.com

アトリエ輪
〒333-0831 川口市木曽呂８９－４
TEL 048-299-9156　FAX 048-299-9157

オレンヂホーム
〒333-0831 川口市木曽呂２４９－１
TEL 048-298-1796　FAX 048-298-1796

各事業所の詳しい様子はみぬま福祉会公式ホームページをご覧ください。
http://minuma-hukushikai.com

みぬま福祉会

千葉一泊旅行

7月から話し合いを重ねた千葉旅行、仲間から出た意見は海岸を歩きたい、海鮮を食べたい、風車が見たい等たくさんの希望が出ました。その中で今回は大多喜ハーブガーデンと東京ドイツ村に行くことになりました。当日は雨が降る中の出発でしたが、中型の観光バスで行くことができゆったり広々と快適な車内でドライブを楽しむことができました。

一日目は大雨のため予定していた白里海岸には行けませんでしたが昼食の大多喜ハーブガーデンに着く頃にはなんと雨があがりました。昼食はハーブがのったオムライスとピザです。大西さんはハーブに囲まれながらピザをおいしそうに食べていました。宿泊先は海が目の前にある鴨川グランドホテルホテルです。波の音を聞きながら温泉にゆったりつかることができました。貸し切り風呂もあり菅家さんや女性職員で堪能したそうです。夕食後の宴会はまずカラオケで斎藤さんのダイナミックな踊りを交えたドラえもんのうた、黒川さんは小川さんと一緒にXを歌いました。カラオケの次はマジックショーです。仮装した尾崎さんがマジックとPPAPを披露してくれました。

二日目は晴天に恵まれホテルの窓からはきれいな朝日と海が見えて絶景でした。一日目に海岸に行けなかった三羽さんですが朝日を見ながらホテル近くの海岸を散策することができました。ドイツ村での昼食は仲間一人一人好きな物を選びました。伊林さんはドイツ村らしい大きなソーセージを食べていました。昼食後はアトラクションの的あてやミニSL、観覧車に乗りミニ動物園では動物が好きな箭内さんは喜んでいました。仲間も職員も共に楽しむことができ充実した一泊旅行になりました。　（富崎）

ディズニー日帰り旅行

10月25日、やっと順番が回ってきましたディズニー日帰り旅行！！天気は残念ながら雨でした。ですがっ！仲間の表情は雨よりもディズニーランドへの希望で満ち溢れていました！。事前にチェックした乗りたいアトラクション・欲しいグッズで頭の中はいっぱいです。入園してすぐに集まって待機する時間にパレード鑑賞。ディズニーのキャラクターたちに大きく手を振る仲間や、アトラクションが気になりソワソワそしてちょっとイライラしている仲間も。そこに嬉しいハロウィン限定のチュロスの差し入れがきてみんなテンションが上がりました。今年から太陽に仲間入りした櫻井さんはチュロス初体験。ディズニーランドに来られた嬉しさもあり、躊躇することなく美味しそうに頬張って食べていました。その後は自由時間。少しの時間でしたが、それぞれの班でアトラクションを満喫した様子です。

お昼はゴージャスなビュッフェ。みんな自分の好きな物を沢山食べていました。中にはデザートのケーキを山盛り食べ、顔がクリームまみれになる仲間も…。お昼を食べお腹も一杯になった所で午後はまた自由時間。雨にも負けずアトラクションを楽しみました。帰宅前は沢山あるお店を回りお目当てのグッズを探したり、お土産を買いました。それぞれが買い物した袋を持ち、大満足で無事に帰路につきました。

（寺﨑）

陽だまりの中より・・・・

～今月の各班の想い～

じゅうに

10/2（月）に　じゅうに班の　打ち上げがありました。さいたま市にあるｺｸｰﾝの中で昼食を摂り kidokido の　ﾎﾞｰﾙﾌﾟｰﾙで　リフレッシュして来ました。道路も意外と渋滞なくスムーズに到着。好きなフロアでショッピングしている姿は皆、真剣です。ﾌｰﾄﾞｺｰﾄでの昼食は、ほぼ車イスの集団で大賑わいでした　(^^♪　食後はﾎﾞｰﾙﾌﾟｰﾙでリフレッシュ☆その間、救護室で腹膜透析を施行。トラブルなく終了後、皆と合流してﾎﾞｰﾙﾌﾟｰﾙでリフレッシュした笑顔に安心しました。ﾎﾞｰﾙﾌﾟｰﾙで仲間の動きを見て「意外と動ける！！！」　事に気が付き、じゅうに班に限らず仲間全員にも生活リハビリが出来そうで今から楽しみで～～～～す(^^♪☆　☆　☆（栗田）

サンだいち

東京、根津にある Gallery 美の舎で「工房集展」がありました。サンだいちのメンバーの作品も展示されているので、「みんなで行きたいね」という声があり、見学に行くことになりました。赤いマイクロバスで都内を颯爽と走行。移動中もいつもとは違う景色にワクワク・ドキドキでした。ギャラリーでは素敵にカッコよく展示されており、自分の作品が展示されていた梅澤さんと田中さんは満足そうな表情。バスに乗っている仲間もとても良い笑顔でした。神奈川旅行には吉川さん、戸田さんが参加。とても素敵な体験ができました。　（高橋）

めーべ

みんなの作品が社会に拡がってきた中で、工房集の活動について講演してほしいという依頼が増えてきています。

10 月は埼玉大学教育学部と日本大学芸術学部の学生さんへの講義に、職員だけでなく関さん、納田さん、渡邉あやさんにも自分達の仕事について発表してもらいました。大勢の学生さんを前に緊張しつつも、しっかり自分の仕事やその思いを伝え、質問にも答える素晴らしい姿を見せてくれました！！（蒲生）

あおぞら

荒井さんの錠剤の様なサイズのガラス、通称“極小ガラス”が生みの親の手元を離れ、どこかに旅立って（紛失）いきました。紛失したガラスを探すのに、掃除の時間の時よりも物を動かし、皆で真剣に探す仲間たち…右の写真は、その時の様子で少しほのぼのとしたスナップです。

でも、どこにもその小さなガラスは見当たりません。皆が探しているのをよそに、生みの親の荒井さんはその子の捜索を早々と切り上げ、しれ～っと次のガラスを切りにかかっています。でもその横顔は、悔しそうでした。

どんまい荒井さん！（笑）　（小川）

きらっと

先日、武蔵野美術大学へ作品展見学に行きました。きらっとの仲間からは西川さん、高谷さん、鶴岡さんが出展されました。今回は代表で仲間 6 人で出展されている作品展へ見学に行きました。美術大学だけあってとても独創的かつユニークな大学内の図書館の中に作品が展示されておりました。違う場所や一風変わったところに仲間の作品が展示されていると、いつも見ている作品とは違う視点から鑑賞することにより仲間達も皆その作品展の雰囲気に溶け込むかのように目を食い入るようにして見学していました。今後も違う場所でたくさんの作品が展示されるのが楽しみです。(沖山)

青　年　隊

あたらしいクラブについて、
はっぴょうがされました。
あたらしくおんがくをはじめます。
これからもぜひたのしんでください。

（あおぞら班：伊藤裕）

オレンヂホーム

第 1 オレンヂホーム廊下ワックス掛けをやりました。たぶん初めての事です。その前の床磨きに時間がかかりましたが、しっかりと磨いた分ワックスを塗ると輝きが増して新築のようになりました。築 10 年の第 2 ホームでも同じ結果でした。仲間たちも「きれいだなー」と言っていました。新人の熊木さんや工藤さんが頑張ってくれたおかげです。これだけきれいになるなら他のスタッフにも協力してもらいながら全館やってみる価値があると思います。少しずつ輝いていくホームを一度見に来てください。　（野崎）

授産報告（１０月）

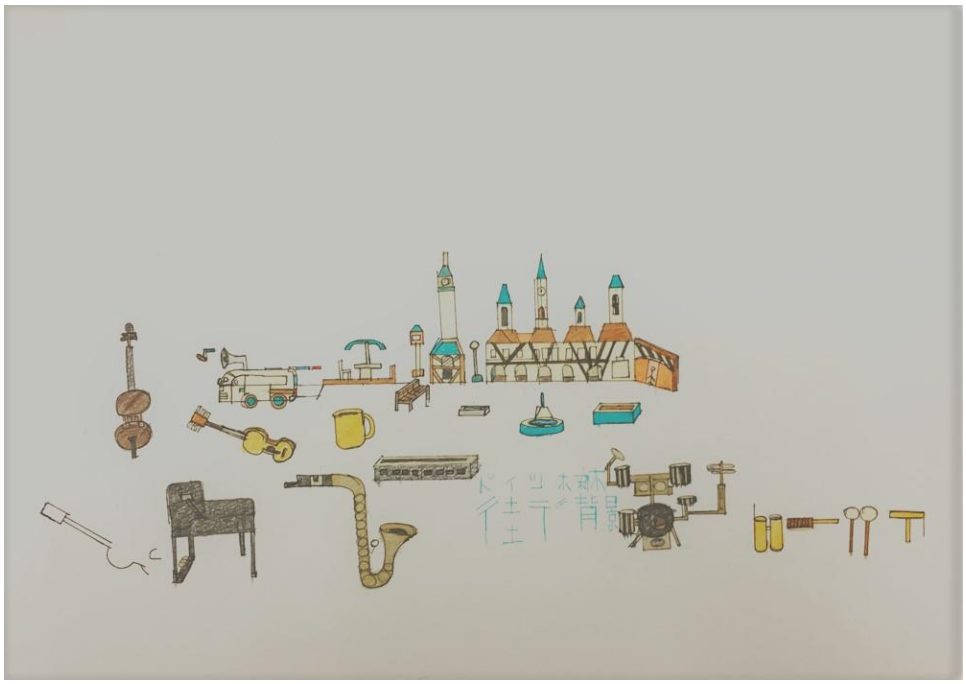
＜収入＞

種目	金額	摘要
ウエス	25,000	
織り	20,500	
絵画	79,461	
詩	0	
古本・古着	700	
粘土製品	0	
ステンドグラス	34,540	
ダンボール作品	0	
和紙・木工	0	
牛乳パック	11,600	
その他	25,900	
給与の為、通帳からの繰入	0	
前月からの繰越	517,700	
合計	715,401	

＜支出＞

項目	金額	摘要
賃金	243,480	
賞与	0	
材料費	0	
経費	0	
その他	0	
通帳への繰入	471,921	
作品展準備金	0	
合計	715,401	

～今月の新作～



オリジナルバージョン

（めーべ）尾崎翔吾

１１月　予定表

		施設	法人・後援会			施設	法人・後援会
1	水		コンサート実行委員会	16	木		家祭り準備・バザー品整理値付
2	木	ツグズムズ１０		17	金	半日、PM職員会議	
3	金	降り・グッズ展		18	土	休み	
4	土	休み		19	日		
5	日		北区民祭り、みぬま福祉講座	20	月		常任理事会、工房集運営会議
6	月	インフルエンザ予防接種		21	火		川口市民の会学習会（青木会館）
7	火			22	水		家祭り準備・バザー品整理値付
8	水	風のコンサート		23	木		障全協全国大会・中央行動
9	木	歯科検診		24	金	半日・クラブ	
10	金	半日、PM職員会議		25	土	一日	家祭り準備・バザー品整理値付
11	土	クラブ		26	日	**太陽の家祭り**	
12	日			27	月	代休	
13	月			28	火	家族会	
14	火			29	水		後援会役員会
15	水	暮らしの場仲間部会		30	木	給料支給	暮らしの場資金作り部会

施設長より

先日、埼玉大学教育学部芸術学科と日大芸術学部での授業で工房集の報告をしてきました。今回初めて渡邉あやさん、納田裕加さん、関翔平さんと一緒に登壇。60 名ほどの学生さんを前に少々緊張気味でしたが、「私の夢は海外に展示されること」「僕の夢は漫画家として有名になること」と熱がこもった言葉と自分の作品を紹介する姿に、私自身が感動。後日、私にとって特に手を焼いた（笑）あやさんが、「自分のことは自分で伝えたい。でも自分のことだけでなく工房集のことも伝える。だからこれからも私を頼ってね」と。嬉しい限りです。

仲間たちの話しは、表現者として学んでいる学生さんにとても刺激になったようです。学生さんの感想を一部紹介します。

●その人の個を大切にしながら、社会とのつながりを作り保つという考え方やあり方は素晴らしいと思いました。

●「アート」というものに、健常者も障害者もまったく関係なくて世界共通の表現だから、もっと社会へ広がって欲しい。

●「働くことは権利である」という視点に芸術が合わさって外に発信し続けられている現状を初めて知りました。お互いに影響し合う環境の中で自己と向き合い、作品にすることで社会に溶け込み、社会に求められるシステムが確立されていて、アートを維持する重要な組織であると感じました。逆に障害のある人々が芸術の壁を打ち壊して教えてくれることが多く、新しい価値創造に社会が発展する機会を提示しているなと思いました。

（宮本恵美）

～後援会からのお知らせ～

みぬま福祉会支援コンサート

＜日程＞　2018年1月20日（土）
＜場所＞　大宮ソニックシティ　大ホール
15：00開演（14：00開場）
＜出演者＞　演奏：東京室内管楽団
ゲスト：はいだしょうこ、桑山哲也
チケット販売中！！

【日程】

・三役会	11／6	川口太陽の家	１０：３０～
・役員会	11／29	交流センター	１０：００～
・広報部（発送）	11／30	川口太陽の家	１０：３０～
・事業部	11／7	川口太陽の家	１０：３０～
・コンサート	11／1	川口太陽の家	１０：３０～
・学習運動	11／7	川口太陽の家	１０：３０～
・カフェ	11／15	川口太陽の家	１３：００～

インフォメーション

＜展覧会情報＞
「第8回埼玉県障害者アート企画展
うふっ♥埼玉でこんなのみつけちゃった♪」
会期：12/6(水)－12/10(日)
会場：埼玉県立近代美術館
キュレーション：中津川浩章氏
同時開催プログラム：シンポジウムセミナー…12/9(土)
ダンス公演…12/10(日)
※シンポジウムは要予約。定員100名。

―展示作家総数97名―
みぬまからの出展者（敬称略）：渡邉あや、安田拓海、西野克、戸田裕人、白田直紀、横山涼、林直登、田村智宥、岩井美和子、杉浦篤、本間充広、佐々木省伍、高橋創、高野穂、土屋莉恵、岩瀬賢美（計16名）
イベント：来場者投票を開催。上位10名を２月のセレクト展に出展する。川越の集客増加をねらう。

色鉛筆(^・^)

「趣味は映画鑑賞です」と言えるほどではありませんが、休日、買い物や食事の後に、ふらりと映画館に寄ってレイトショーを観るのが好きです。
この「ふらり」が私の中ではポイントで、「この映画面白そう！」と期待を膨らませて観に行っても、見終わった後に、「DVD を借りて観れば十分だったなぁ」なんてガッカリする事があるからです。
　また、レイトショーは観客も比較的少なく、静かで、なんとなく時間潰しがてらな感じの人もいたり、その少しまったりとした雰囲気も好きです。
　映画のジャンルは、アクションやホラーといったドキドキするのは苦手で観た後にほっこり出来るような作品を選びます。最近観た映画は、「僕のワンダフル・ライフ」です。
　この映画は、ゴールデン・レトリバーの子犬ベイリーが、自分の命を救ってくれた少年イーサンと固い絆で結ばれていき、やがて寿命を終えたベイリーは、愛するイーサンにまた会いたい一心で生まれ変わりを繰り返すようになるが、なかなかイーサンに遭遇できません。3度目でようやくイーサンに出会えたベイリーは、自身に与えられたある使命に気づく、という物語です。前評判で「3回泣ける、感動ストーリー!!」となっていて、ホントかなぁと思いましたがハンカチ必須でした！また、気になる映画があったらふらりと寄りたいです。

請求事務（岩井）

　私事だが、娘は25才。太陽の里が開所した日から間もなくして誕生した。太陽の里が開所する前後は、とにかく慌ただしく、皆が忙しくしていた記憶だけが残っている。子育ても同様で、気が付いたら20才を過ぎていたというのが正直なところである。
　その娘が最近幼少の頃の話をよく口にする。人見知りが激しく、話が上手くできずに、そのためその時の娘の心境が理解できずの繰り返し、、、どうやら悲しい思いを沢山した様だ。学校時代の娘に対して親はただ悩むばかりでその時間が本当に長かった。
　この歩んできた時間を太陽の里も歩んできた。あっという間の25年であるが、その１日１日はとても貴重な時間である。人を育てることの難しさを今さらながら感じる日々である。

事務（千明）

＜おひさま編集委員＞黒田、大川、小嶋、津畑、鳥原、熊木、宮本ゆ